

新しい価値の創造、 イメージの具現化

Creating New Values
& Realizing What You Imagine

プラスチックと金属の外観と質感をプラス思考で考える

外観加飾のトウ・プラス

COMPANY PROFILE

会社概要 —Company Overview—

社 名	株式会社トウ・プラス
代表者	代表取締役社長 浅賀 基久
創 業	1959年6月
資本金	3000万円
従業員	100名



事業内容 —Business—

金型	射出成形用設計及び製造
成形	ABS、PC、PC+GF、PC-ABS、PA+GF、PVC、TPUなどの樹脂成形 板金インサートなどの成形
塗装	UV硬化型・熱硬化型・2液硬化型塗料の自動ライン塗装 精密な膜厚管理による意匠性の高い外観塗装、機能性皮膜の加工
真空蒸着	導通（連続膜）・非導通（不連続膜）などの金属調外観 光学薄膜（多層膜）蒸着による機能性皮膜（AR、AF処理） EMI電磁波シールド
金属加工	AL、AL-MG合金、SUSのプレス成形 CNC旋盤、CNCフライス、MCによる切削加工 研磨、ブラスト、ヘアライン、エッチング、アルマイト他
二次加工	LDS、印刷（スクリーン&パッド）、レーザー加工、色入れ、ASSY

※加工内容によっては、日本、中国など拠点が限定されるものがございます。

※一部、外部へ委託する業務も含まれております。

環境方針 —Environmental Policy—

環境経営理念

株式会社トウ・プラスは、多くの緑と豊かな水に恵まれた秩父域にあり、通信機器・事務機器・医療機器・装飾品・時計・自動車・照明機器のプラスチック部品の製造、加工の事業を通して、企業に課せられた環境問題に対する社会的責任を認識し、地球環境に配慮した企業活動を進めます。

行動指針

1. 関連の法規制並びに利害関係者との同意事項を遵守し、継続的な改善を通して環境保全、環境汚染の予防に取り組みます。
2. 事業活動により生じる環境への影響を管理・低減するために環境目的・目標を定め、エネルギーの削減・廃プラスチックの削減とリサイクルに努めます。
3. 当社のために働くすべての人に対して環境教育を実施し、また環境問題の社内外への啓蒙活動を推進します。
4. この環境方針は、外部の要求に応じ公開します。
5. この環境方針は、年1回見直します。

トウ・プラスの特徴 —Feature—

グローバル対応

日本・中国を拠点に国内に限らず、海外のお客様ともお仕事をさせていただいております。各国を回り、お客様と直接お話をさせていただくことで、よりの確かなニーズの把握とスピーディーなレスポンスに努めます。また中国深圳工場は蒸着・塗装メーカーとしては世界最大のキャパシティを有しており、安定した品質で大量生産にも対応可能です。



ワークフロー -Workflow-

01 お問い合わせ

製品の加工についてお電話もしくはHPからのお問い合わせを受け付けております。
素材や形状、デザインイメージ等お聞かせください。
図面等がございます場合はご提供ください。



02 お打ち合わせ

お客様のご要望を細かく伺いし、その上でデザインのご提案や技術的加工の可否、またこれまでの経験や実績から量産時に想定される問題点などをご説明します。
また量産案件に限らず、試作・構想中の案件についてもご相談いただければ、可能な限りお手伝いさせていただきます。

03 試作・検証

お客様のイメージの具現化。簡易治具を使用し、イメージと製品のFIXを行うとともに、実際に加工を行った際に発生した問題点の抽出と改善の方法を検証します。合わせて量産に向けた型の設計に着手致します。

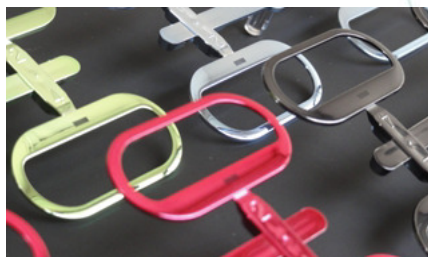


技術について —Technology—

当社では金型の設計から成形・塗装・蒸着・二次加工・出荷まで社内完結の一貫生産を行っております。社内で製品のコーディネートすることで工程上の無駄を省き、低コスト・短納期・高品質を実現、お客様への負担も軽減することができます。

また近年では、電子機器の軽量化・薄型化に伴い、プラスチックと金属を併用したデザインが多くなりました。金属装飾の需要が増えてきたため、当社では2009年より金属素材へも一貫加工ができるよう金属加工（切削・プレス・塗装）を開始。プラスチックと金属、それぞれの特性を生かしデザイン性に富んだ加飾をご提案致します。

塗装



- クリア塗装
- カラー塗装
- 社内調色
- スピンドルライン

蒸着



- 加飾蒸着
- マルチコート
- 蒸着重合
- EMIシールド

二次加工



- レーザーマーキング
- 色入れ
- 印刷
- ASSY・検査

金属加工

プレス、旋盤切削、MS加工などの加工を製品（デジタルカメラ・携帯電話など）の外装に使用される金属部品に施します。アルミ・ステンレス・真鍮の材料を日本／中国／韓国／台湾より調達し、日本品質にて加工、また表面処理としてアルミ特有の加飾法であるアルマイトの他、メッキ、金属塗装、印刷（バッド&シルク）、レーザー、色入れも行います。

※金属加工は中国中山工場にて行っております。



射出成形

外装部品への用途が多いクリア樹脂、インフラ事業へ幅広く調整可能な塩ビ樹脂の成形を行っております。

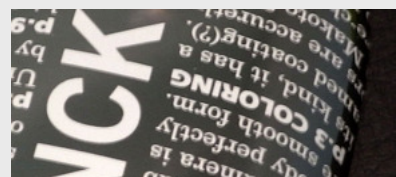
製品及び治具については自社にて金型設計を行っておりますので、ご要求について細かな対応が可能です。

製品形状はもちろん、肉薄なシート成形技術も有しておりますので、切削などの次工程にも対応でき、多面付けによる量産性も確保されています。



デザイン開発

東京オフィスのCMFデザイン室では樹脂や金属といった外装部品への加飾方法や表現のご提案、まだ設計図のないお客様が頭の中で描いているイメージを形にする工程構築と材料選定、量産を見据えた試作段階での問題点の改善など、加飾でのお悩みをサポート致します。



04 型製作

お客様と当社金型設計者として綿密にお打ち合わせをさせていただき、型製作をスタート致します。特に加飾を伴う製品の場合は次工程も視野に入れ、寸法問題が生じないよう、予めご説明さし上げ、型へ反映します。



05 素材加工

お客様ご指定の樹脂材料にて製品の成形、合わせて治具の成形を行います。当社では用途別に成型機を使い分け、透明樹脂も成形できる整った環境で作業を行います。また素材が金属の場合は切削・プレスを行い製品を象っていきます。



06 加飾工程

精密な膜厚管理と意匠性の高い塗膜を形成する塗装技術がベースにあり、塗料も社内の厳しい評価に合格した塗料を選定使用、そのバリエーションも豊富です。導通・非導通・多層膜など外観はもちろん機能的にも優れた蒸着膜の形成技術。強度・色彩に優れたアルマイトによる金属加飾。素材ごとに適正な方法で加飾を行います。

07 二次加工

印刷（バッド/スクリーン）やレーザーマーキング、ダイヤカットなど、外観加飾における二次加工にも対応。特にレーザー技術においてはその精度を高くご評価いただいております。単品部品に限らず、社内でのASSY他、検査のお仕事もお受けしております。

To Plas⁺
TO-PLAS CO., LTD.

株式会社トウ・プラス

<https://www.toplas.co.jp/>

〒368-0025 埼玉県秩父市桜木町3-17 TEL. : 0494-23-0023 FAX : 0494-24-9864

